

広島県・グアナファト州青少年交流事業

広島県とグアナファト州相互派遣の高校生との昼食交流会を開催しました

広島県・グアナファト州青少年交流事業において、今年はグアナファト州から広島県に10名の高校生と2名の引率者が7月30日（水）から8月7日（木）まで広島を訪問しました。

10名の高校生は、初日のオリエンテーションを終えてから、平和記念資料館視察、鞆啓大学訪問、マツダミュージアム見学、宮島・厳島神社参拝、ホームステイ、地域交流、県人会交流、広島大学ツアー、県立広島高校ワークショップ・スクールツアー、日本文化体験、平和記念式典参列、基町高校 原爆の絵鑑賞・ギャラリートーク、県庁表敬など、数多くの事を体験しました。



8月1日に行われたマツダミュージアム見学会

8月7日（木）広島滞在最終日に、当親善協会主催で、同月後半からグアナファト州を訪問する広島の高校生10名のうち7名が参加して、昼食交流会を広島市中区堀川町にあるメキシコ料理店“カフェ・ラティーノ”で開催しました。

開会にあたり、菖蒲田会長が挨拶を行い、交流会が始まりました。食事を終えた頃に、当親善協会よりグアナファトの皆さんにけん玉をプレゼントしました。廿日市市のけん玉ショップ“砂原夢企画”代表の砂原さんにけん玉について解説いただき、妙技を披露していただきました。

そして、交流会の後半には、広島県・グアナファト州の相互訪問について、それぞれの代表者が発表を行い、最後に集合写真の撮影で交流会をお開きとしました。



けん玉の解説と妙技を見せる砂原さん(右)と高校生たち



交流会会場の様子



交流会の最後に集合写真を撮影